

人口と世帯
 50.12.1現在
 男 5,798人 (+5)
 女 6,134人 (-9)
 計11,932人 (-4)
 世帯数 2,725 (-2)

みくに報広

編集発行 国見町役場

(企画課)

昭和50年12月15日

No. 30



あんぽ柿

日だまりの中

山に積まれたはちや柿

みるみるうちに

渋皮がむかれてゆく

その ちみつで

なめらかな果肉は

軒下につるされて冬を待つ

やがて

きびしい寒さとともに

自然の甘みを増してゆく

写真は貝田の
 鈴木清雄さん宅で——

'75

12月

事故のない

たのしいお正月を迎えよう

あわただしい年末がやってきました。年の瀬も押しつづまっています。「師走」といわれるように、人や物の移動が急増加し、身も心も何となく落ちつかないものです。そんな時のちよつとした気のゆるみが事故につながります。みんなが注意して、家族そろって楽しいお正月を迎えましょう。

空き巣・ドロボウ

今年一月から十一月まで、桑折警察署管内に発生した空き巣・ドロボウなどの窃盗事件は二十六件で、その内容をみますと、家をあけるときのカギのかけ忘れやカギをしなかつたものが大部分でした。そこでこれらの被害を防ぐためには出入口はもちろんあらゆる窓のカギの点検やカギかけを励行し、外出するときや寝る前の戸締りを十分に行うことが第一です。万一窃盗の被害にかかったときに何を盗まれたか家の中を全部調べてから

届けられる人がありますが、捜査の手掛りをなくすことになりまので現場はそのままだにしてすぐに警察に届けてください。

ひったくり

バッグはしっかりと
盗末は
ひったくりの
多い時



年末年始には、銀行通りをねらったひったくりや入込みの中で、スリがねらっているものです。暗がりの一人歩きも危険です。スリやひったくりにはくれぐれも用心してください。

非行

クリスマスパーティー、同級会などと子供連も外出やいろんな人達と遊ぶ機会が多いときです。この時期には非行に走る子どもも少なくありません。そこで家庭では子どもの行動に十分関心を持ち、子どもが友人、勉強部屋、服装、持ち物などに注意するとともに、毎日機会をみて、子どもと話し合いをすればならぬ場をつくることが大切です。



交通事故

車の行き来も激しくなつてきました。年末年始にかけて酒を飲む機会が多くなり、飲酒による交通事故も多くあります。運転者はもちろんみんなで飲酒運転を絶滅させることが大切です。また人の心も何となく気ぜわしくなり、無理な追越しやスピードの出し過ぎ、交差点での安全確認を怠つたり、安全な車間距離をとっていないかつたりしたため事故が多くなります。

一方、歩行者や自転車も安全を確認しないで道路を横断し事故に遭うことも多くあります。歩行者も運転者も十分注意し合つて、事故のない正月を迎えたいものです。

桑折警察署管内の交通事故

区分 町別	発生		死者		傷者	
	49年	50年	49年	50年	49年	50年
国見町	41	23	3	1	48	30
桑折町	51	39	0	3	81	42
計	92	62	3	4	129	72

(50年11月30日現在)

「特例納付」最後の秒よみ

(国民年金)

国民年金の保険料は、滞納したまま納付の期限から二年を経過しますと時効消滅して保険料が納められなくなります。老齢年金の受給要件は、一定年数以上の保険料を納付することが必要ですので、保険料が時効消滅することは、年金の受給権を放棄したともいえます。

しかし、昭和四十八年の改正法で、それ以前に時効消滅した保険料について、一カ月九百円ずつを納めて老齢年金の受給権を確保するという「特例納付」の制度が設けられました。この期間が、今年の十二月三十一日までです。

特例納付できる当然加入の方とは次の①②に該当する人です。
①二十歳から五十九歳までの日本国民で国内に住所のある人
②次のア・エのどれにもあてはまらない人
ア 厚生年金や共済組合などの被用者年金の加入者とその奥さん
イ 年金や恩給などを受けることができる人とその奥さん

12月31日まで

近くて遠い国と言われた中国も
国交回復によって友好交流の輪は
急速に広がりました。

さて、このほど東北信越地方の
友好農民の船員として、山崎の
吉田義正さん(31)が、中国の農
業の現状を研修してきました。期
間は八月十五日から十六日、上
海、天津、北京などを見学し、相
互理解を一層深め、親睦と友情の
輪を広げられました。

中国の農業

八字憲法と実践活動

山崎 吉田義正

中国は、「農業を基
礎として工業を導き
手とする」国策によって社会主義
国家を建設している、事前研修
で学習していましたが、成程、
農業を重点としていたと感じ
ます。中国の農民は、八億国民の食
糧はこの国でも作ってくれない
自分達の食糧は自分で生産しな
ければならない、という自覚をもつ

熱狂的な歓迎ぶり(上海)



農業の副産物である小麦のムギカ
ラなどを敷ワラとして家畜に踏ま
せたものを畑の土を混ぜて堆肥に
積んでおり、良い堆肥を作ってい
ました。畜舎に入って感じたのは
ハエとアブが全然いなかったのは
ビックリして、日本の畜舎は中
国に学ばなければならないと思
いました。

自然の法則に したがう

て農業に励んでおり、肥料と飼料
と農機具のほとんどを農民自身
で作って、自給自足の農業は非常
に力強く、たのしいと感じました。
中国農業の指導原理は「八字憲
法」でした。一九五六年に農業生
産の発展のために、毛沢東主席が
定めたといわれます。八字憲法は
次のとおりです。土(土壤改良)
水(施肥の改善)水(かんがいと
排水)種(品種改良)密(合理的
密植)保(病虫害防除)管(栽培
管理の改善)工(農機具改良)以
上の八字憲法が中国農業の重点
として、人民公社では着々と実践
されています。

土壌改良と施肥の改善は、家畜
と組み合わせて合理的にやってい
ました。家畜の飼料はすべて農場
で生産した自給飼料であり、耕種

中国はアルカリ土壌が多く、土
地改良の結果、作物が育つよう
になったということです。雨期を利
用して雨水で畑を洗い、アルカリ
分を流したそうです。畑には五十
メートル間隔で、幅二メートル、
深さ一メートルの溝を掘って雨水
をためて、その水をポンプで排水
してアルカリ分を洗い流して土地
改良をやり、さらに前記の堆肥を
一ム(約六・七アール)当たり
七トンも入れて土を肥やすように
努力したということです。土地改
良もかんがい排水も同時にやっ
てしまおうというのが中国農業の特色
で、自然循環の法則に一致して
おり、この点は日本も中国に学ば
なければならないと思いました。

品種改良は国の研究所で進め
ており、上海では水稲を二回作っ

さらに小麦も栽培して年二毛作を
やっており、畑作地帯では、コー
リヤンの草たけが人と同じくらい
に低くなり、トウモロコシも開作
していたのは、品種改良のたま
ものと感心しました。

上海で見学した二期作の水稲
はものすこし密植で、四寸×四寸
で一株の植込本数は約八本ぐらい
という密植に私は疑問を感じまし
た。田植の植え痛みもひどく、病
気も出ているようでしたから、植
栽密度は研究の余地ありと見て
きました。

病虫害の防除は、肩かけ式の小
さな噴霧機でやっていましたから
日本のように発達していません
でした。栽培管理は大ざっぱで、
日本とくらべるとお話にならない
くらいの粗放栽培であり、栽培技
術がもっとと進めば、中国農



ゴマ畑で(天津)

ウ議員さんとその奥さん
工場部の学生
現在強制加入でない方でも、過
去に強制加入であった方でその期
間に滞納があれば特別納付できま
す。

当然加入の方は、まだ加入の手
続きがされていない方でも届けを
すれば当然加入とされる日までさ
かのばって加入が認められます。そ
の期間について特別納付できます。
なお、明治四十四年四月二日以
後に生まれた人は、原則として老
齢福祉年金は支給されませんが、せ
ひ特別納付してください。

業は基礎ができているために、素
晴しいと思いました。

農機具も製造

人民公社の機械工場では、自分
達の使う農機具の大部分を製造し
ていました。トラクターなどの修
理も全部自分でやっていますと
いうから、中国農民は力強いなど
感じました。

中国農業を見てきて感心し、日
本において生かさなければならな
いことは、国がもっと農業を大切
にする国策を実践することであり
農民自身も、食料生産の仕事に誇
りを持って自主独立の精神で農業
に精進しなければならないのです。

明るい町



藤田小学校
6年 青木邦子

「明るい町」とは、どういふことだろう。かたんにいえば、いつも明るく、もほんのような町。

では「明るい」とは、どんなことだろう。まず、だれにでも親切でほかから、そしてここにこしている。いつも、こういうことを心にそなえておくことではないかと思う。

人間は、いつも明るくしているわけではない。ふつうの人なら、不きげんなどときがあるだろう。そういうときは、きまつて、人や動物をいたわったり、親切にすることをおぼえていた。わたしは、人間はこういう性質があるのだからと思う。

もしもひとりの人が、不きげんで人にやつあたりすると、その人もイライラして、たちまち町全体がイライラになってしまう。そうすると「明るい町」ではなく、「不きげんな町」になってしまう。それでいけな。それとは逆に、だれかひとりが

ここにことしてだれかに親切にしたとしたらどうなるだろう。親切にしてもらった人はとても気分が明るくなって、こまつている人を見と助けてあげる、というようにとどんとん広がついていく。こういうことが、だんだんと明るい町づくりへとつながっていくのではないだろうか。



今までにあげたことばかりで、「明るい町」といふまにはいかならぬ。ほかにも、非行、交通事故、そのほかのいろいろな事故をなくさなければならぬ。それはそういうことをなくすにはどうしたらいいだろうか。

まず初めは非行についてだが、わたしの考えでは、非行にはいつてもいい人たちは、自分の心に負けてしまふのだと思う。それで一回でも悪いことを、二回、三回と重なつて、ついには非行の道からげられなくなるのだと思う。

交通事故や水の事故、そのほかのいろいろな事故は、思いがけないところでおきるものだ。これはふだんから気を付けて、いろいろと守ることが習慣になつてしまふとよいのではないかと思う。

今まで書いたことはほとんどが自分自身の心にまけたものではだめだと思ふ。初めにいつた、人に親切にしたりすることも自分の心に正直になつて、何か下心などがあつて親切にするようではだめだと思ふ。少しでも人を助けてあげよう」と心から思ふれば、それは自然に行動に表れるようにだ。最後にとあるように、明るい町づくりというのは、みんなひとりひとりが自分の心に正直になつて協力することが大事だと思ふ。

おとなもこどもも みんなできつくりつ明るい社会

大木戸小学校 五年 忍 栄子

去る十一月二十七日、献血車いずみ号の来町の際は、あたたかい協力ありがとうございました。協力者九十四名、うち低比重などでできなかった方が十一名いらっしゃいました。
(協力くださった方)

愛の献血ありがとう

- (敬称略) 松浦英夫
- 吉田輝雄、大沼勉
- 佐藤孝、小池芳男
- 斎藤キヨ、徳江信男
- 佐野貞治、池田トミ
- ヨ、八巻テル、佐藤利夫、斎藤規雄、龜月辰也、朽木好秋
- 大槻サツ、鈴木百合子、後藤一、斎藤文子、佐藤京子、佐藤正則、大槻トリ、鈴木哲雄、沼田君代、村上美紀子、佐久間正、国分幹夫、斎藤林喜助、佐野昭一、松浦市太郎、菊地富子、後藤京子、遠藤善正、武田智、小林平三、後藤澄雄、奥山隆夫、松浦惣一、佐藤忠美、斎藤慶子、後藤忠一、佐藤忠夫、渡辺アサ子、佐藤シゲ子、赤坂はるい、佐久間吉司、酒井清次、菅野カネ子、近野多栄子、後藤ミツ子、吾妻昭美、紺野シマ子



【この一滴が尊い命を救う】

- 今野芳雄、阿部洋一、八島富一、徳江賢一、原田金蔵、大津隆男、古川比可、蓬田吉治、安田博三、木村貞雄、浅野美恵、秦清一、村上隆、鈴木広茂、佐竹弘治、金丸和仁、佐藤愛子、半沢祐治、鈴木昭司、高橋昭子、渡辺良子、佐藤昭次、橋内良子、松浦敏子、池田和夫、菅野ヨシ子、斎藤実八島和子、半沢淑子、八島一雄、渡辺ヨシエ、野村ヨシ子、古川忠行、広沢松男、菅野由美子、菊地ヨウ子、内村美恵子、佐藤ハル、村上美佐子、斎藤吉田キヌ子

(協力団体として)
国見電子株式会社 二十五名
国見町役場 二十名

勉強になりました

県政バスに乗った 川内婦人会

県の施設をより多くの県民に見てもらうと、県では「県政バス」を走らせていますが、このほど川内部落婦人会の約五十名が、県庁、蓬米ニュータウン、二本松市の岳ダムなどを見学してきました。その感想文が、鈴木すずさん、佐藤ヒロエさん、佐藤ヨシさん、佐久間しよさんのから寄せられました。全部を載せたかったのですが、紙面の都合上一部をさせていただきますこと、ご承願いたします。

研修旅行に参加して

川内 鈴木すず

去る十月一日、心配された天候も私たちの願いが天に通じたのかからりと晴れ上がり、私たち一行四十五名を乗せた県政バスは一

県議会議長室で



路福島へと向かいました。バスは九時過ぎ県庁に着き、初めに係員から知事公館に案内され、新しく美しい近代的な建物を見てビックリ、中に入ってそのすばらしさに二度ビックリ、こんなすてきな部屋でゆっくりお茶を飲みたいと思いました。

次は県庁本庁舎に行き、県議会議事室で議長室の説明を受け、それから副知事と会い、県政について話し合いをしました。最後に県議会議長室に行き、池田県議会議長と親しく話し合いをしました。副知事何かが何だかわかりませんでした。しかし議長室では、議長さんが地元東北出身のためかごときよく親しみを感じ、ゆっくりつづろぐことができました。こころもしみじみ

と政治を行う人々と私たちのつながり、特に私たちが選んだ議員さんとのつながりの大切さを感じました。これからはもっと政治のことに関心をもち、常に政治とのつながりを密接にしなればと思います。

県庁を後に次は蓬米ニュータウンへ向かいました。ニュータウンではその広さに、大きさに、施設の良のりにビックリし、一カ所で買物から銀行の用まで足せるには感心しました。あの原野を切り開いてこの様、水道やガス設備のある立派な町を作るにはたいへん巨額資金がかつたことだろうと思ひ、そしてその何分の一でも分けてもらって私たちの生活環境をもっと良くしてほしいと思いました。

チヨッピリうらやましい思いを抱きながら岳温泉方面へ行きました。県庁の建物よりも深く広いダム建設予定地を責任者の方に説明してもらいたいんよい勉強をさせていただきました。そして、私たち婦人はこれからもこの様な研修に参加して社会に目を向けなければと痛切に感じました。

最後に、川内婦人会のためにお骨折り下さいましたみなさんにお礼を申し上げますとともに、今後ますますこのような機会を持つて下さることを願っています。

零細事業所が八六%

工業統計調査の結果まとまる

工業統計調査とは、製造業を営んでいるすべての事業所を対象として、毎年十二月三十一日現在で実施しております。

このほど、昨年の結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

*製造業事業所の数は四十八年と同じで七十二です。

*従業員数は、一十九年までの零細事業所が八六%を占めて二十人以上の事業所は一四%に過ぎません。

*産業別にみると、繊維工業がトップで四一・七%、次いで家具装備品製造業が一四%、そして食料品製造業、木材製造業と続いています。

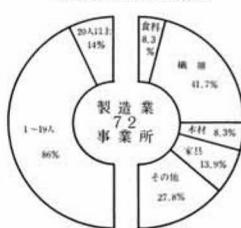
*工業生産活動で製造品出荷額は四十八年度と比較すると石油シヨックの不況の影響をうけ、八百八十三万円の減となりました。

トップで四一・七%、次いで家具装備品製造業が一四%、そして食料品製造業、木材製造業と続いています。

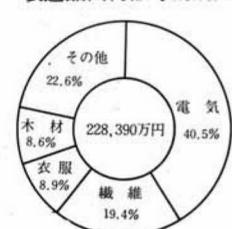
*工業生産活動で製造品出荷額は四十八年度と比較すると石油シヨックの不況の影響をうけ、八百八十三万円の減となりました。

*製造品出荷額等を産業別にみると、一位は電気機械器製造業で二位に繊維工業、三位に衣服その他の繊維製品製造業、ついで木材となっています。

事業所数構成比



製造品出荷額等構成比



今年もまた、十二月三十一日現在で工業統計調査を実施します。この調査は、わが国の製造業の実態をつかみ、生産活動に関する基本的資料を提供しようとするもの

調査員が伺いました際は、ご協力をよろしく願います。なお調査票は、課税のためなどに使われることは絶対ありません。

貴重な資料が山積

国見町史第四巻を刊行

いよいよ待望の町史第四巻がきた。さっそくページをめくろ。

この第四巻は次の三つの資料から成っている。

第六編 現代 (一六二〇頁)

第七編 村誌 (七〇頁)

第八編 民俗 (二五〇頁)

そのうち第六編の現代資料は、第二巻(原始、古代、中世、近代)および第三巻(近代)のあとをうけ、戦後の資料である。山と積まれた資料の中から選び抜かれた珠玉のような資料、戦後の混乱の中からどのようにして現在の国見町が形成されてきたかを知ることができる。

日本の敗戦がどのようにけつめられ、連合国の占領政策の浸透する状況はどうであったか、その

中で行われた農地改革は国見地方の農村をどのように変ぼうさせ、またどのような経過をもって町村合併を果たし国見町が成立してきたか、その後町の人びとは産業、経済、教育、文化など社会生活全般においてどのような努力を重ねて現在の郷土をつくりあげてきた



かという国見町の戦後史が、この資料を通じてうかがいがつくれるものと思われる。

第七編の村誌は、一〇〇年前の郷土の姿を総合的に知る唯一の手がかりである。明治政府はその政治の基とするためあって、国の歴史を始め、県、郡、村の歴史をつくらせた。当時の村といえは今の大字で、わが国見町には十六の村があった。県では政府の旨を受

け、各村に命じて村誌取調書をつくらせ、これを原稿として各村誌をつくり政府に提出した。この正本は震災等で大部分なくなつたが幸い副本が県立図書館に保管されていたのでこれを借りてこの資料編に載せたというのである。明治初年の村の成立、行政管轄の変遷その他当時の社会経済の発展を知ることのできる真に貴重な資料である。

第八編の民俗編をつくるには、専門委員が町内各部落をくまなく訪問し、多くの古老から聞きとりしたことや、江戸幕府の名儒屋代弘賢の信達風俗問状書、各小学校備付郷土誌所載の資料を分類整理したもので、将来民俗研究学界に大きな波紋を巻き起こすものと思われる。

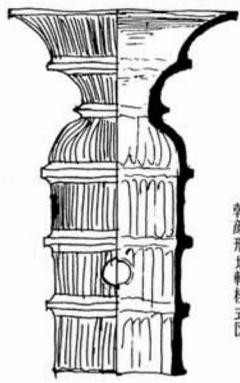
なお、町史編さんのために集められた多数の資料は、その所在を明らかにし、保存と利用しやすいように、『国見町史料所在目録』をつくり、また、特にすぐれた資料を選んで、『国見町史料叢書(その一)書』をつくって町史の補遺として、ともに第二集まで刊行以下続刊の予定で、町史ともに学界の好評を博している。

おこわりー
毎月掲載しておりまし
した(町しくみ)は
勝手ながら紙面の都合
上休ませていただきます。

国見史跡めぐり

題字は佐藤町長

塚野目古墳群と八幡塚古墳



22

八幡塚古墳出土
朝顔形埴輪模範式図

塚野目古墳群は福島県内において数少ない中期古墳を伴う古墳群で有名である。伝えによると四十八の塚があったとのことであるが、おそれそれはそれ以上の古墳からなりたっていたかと思われる。調査されたものが少ないので全体像をつかむことはむずかしいが、造られた年代は四〇〇年代中頃より六〇〇年代にかけての二〇〇年間くらいにわたって造られているようである。中期古墳とは、朝顔形埴輪、石製模造品などをともなうもので、大型の古墳である。塚野目古墳群には仮に番号が付けられているが、一号塚が八幡塚であり

四号塚が錦木塚である。現在古墳の墳丘をよどめているのは七つであるが、場所が確認されているのは三十四まで。八幡塚は今まで、直径四十一メートル程の円墳であるといわれているが、本年三月の調査により長径七十メートルの前方後円墳で、堀の幅が約八メートル、深さ一・五メートルであることがわかった。出土した遺物は朝顔形埴輪(高さ八四センチ筒輪など)である。七十メートルの大型古墳は県内で十指に入るものであり、今後は文化遺産として今まで以上に多くの人々から注目されることでもあり、今後はこの古墳を破壊から守り、後世に伝えるにはならないものである(町史を参照のこと)

トビックス

◀完成した記念碑

長年の苦勞を刻んで 滑川改修の記念碑が完成



このほど、滑川改修工事の竣工を記念して、大字石母田字鹿島地内に記念碑が建てられ、その除幕式が十一月二十三日に行われました。

滑川は、石母田を起点として、森山、大木戸、徳江、西大枝を経て滝川に合流する、延長一キロあまりの小さな川です。しかし、梅雨期や台風による豪雨で川があふれ、下流の田畑はよく被害を受けておりました。が、地元民の強い要望で、四十五年改修工事に着工五年の年月をかけて今年四月に完成したものです。

記念碑は、長い間の努力と苦勞

を顕彰し、改修工事の意義を後世に残そうと記念碑建立委員会(会長 長佐藤善右工門町長)を設立し、四十万円を投じて立派に建てられました。

銀杯に輝く 高橋さん

貝田の高橋弥作さん(65歳)にこのほど、農業後継者へ適期に経営をゆずり、農業経営の近代化に寄与されたとして、農林大臣より感謝状と銀杯が贈られました。農業委員会でさらに、老後の安定を願う農業年金業務にご理解をいただき、第二、第三の銀杯受与者が現れることを期待しています。



県庁における伝達式

このほど、元国見町消防団第三分団第一部長の吉田充助さん(六十五歳)に、森山に勲七等青色桐葉章が授与されました。吉田さんは、昭和十四年、蕨江野村警防団員となつてから実に三十一年もの長い間、団員として在職、常に火災予防の普及に努力を重ね、住民の生命と財産を守るために力を尽くしてきました。その熱意と功績が今日の受賞となったものです。



吉田さん

吉田さんに 勲七等青色桐葉章

また責任感も強く、その温厚な人柄は消防団員はもとより一般町民からも親しまれてきました。

一階から火が出た！ 藤田病院で避難訓練

備えあれば憂いなしといいますが、火災の多く発生する時期を迎えて、さる11月25日、公立藤田総合病院で火災訓練が行われました。「午後2時、藤田総合病院一階レントゲン室から出火、延焼のおそれあり」という想定で非常ベルと同時に、医師や看護婦さんなどがテキパキと避難誘導常備消防車や救急車がかけてついで消火と救助にあたります。そして地上14メートルの5階から避難袋を使って避難するなど本番さながらの訓練が繰り広げられました。



◀救助袋で避難の練習



◀真剣そのもの

心配ごと相談所

相談受付件数は19件

「心配ごと相談所」が開設されて以来、半年が経過しました。まだ始まったばかりでなじみが薄いせいもあってか、一回平均の相談件数は一・二件と少ないようです。しかし、順番で相談に応じている民生委員の方々は、一つ一つ相手の身になって親切に、そして真剣

に聞き、解決に努力しています。みなさんも、困りごと、もめごと、悩みごとなどありましたら、お気軽においでください。もちろん内容の秘密は一切守ります。相談は、毎月「五」のつく日に役場車庫の二階で開設しております。

〔半年間のまとめ〕

〈開設回数〉	16回
〈相談受付件数〉	19件
家族関係	3件
財産	3件
苦情相談	2件
事故関係	2件
住宅問題	1件
離婚相談	1件
人権	1件
健康医療問題	1件
結婚相談	1件
生計問題	1件
その他	3件

◎当日および相談後解決したものの5件
◎継続中のもの7件

年末年始の当番医

年末年始のお医者さんの当番医が次のように決まりました。

- 12月28日(日) 熊谷医院
- 12月29日(月) 村上医院
- 12月30日(火) /
- 12月31日(水) 武田医院
- 1月1日(木) /
- 1月2日(金) 熊谷医院
- 1月3日(土) 宮川医院
- 1月4日(日) 村上医院

善意の窓

町社会福祉協議会へ左記の方々からあたたかい寄付が寄せられました。厚くお礼を申し上げます。

- 中文字 藤田字北三
- 山本 藤田字八 (三万円)
- 山本 泰平 (三万円)
- 本間 章衛さん (三千元)

人事異動

十一月一日付で、議会事務局書記の安孫子正蔵さんが一身上の都合により退職されました。それに伴い異動がありましたのでお知らせします。

- (一)内は旧任
- ▽議会事務局書記 後藤京子(住民課福祉係)
- ▽住民課福祉係 市川成子(総務課庶務係)

住民票や印鑑証明は

時間内に!

平日 午前八時三十分～午後五時まで
土曜 午前八時三十分～午後〇時まで

十二月から、土曜の午後と休日の戸籍事務の取り扱いが一部変わりました。これは、大切な戸籍簿を火災から守り、また戸籍事務の事故を防止するためのものですので、みなさんのご協力をお願いします。

①戸籍の各届出(出生、死亡、婚姻、離婚など)の受付は、現在行っているとおりの土曜、日曜とも受付をいたします。

②土曜の午後、日曜、夜間(時間

外)は、職印による事故防止のため戸籍簿抄本、住民票簿抄本および印鑑証明など、職印使用の事務は一切行わないようにいたしました。

◎しかし、なるべくみなさんに迷惑がからぬよう、あらかじめ電話なりで連絡を下されば作成しておき、宿直や日直が交付できるようにいたします。(印かん証明は除きます)

おめでとう ごさいます

(11月中に帰国された人)



- 高橋 佐七 第十二
- 齋藤 啓子 福島市
- 佐藤 祐一 北部
- 加藤 清子 福島市
- 佐藤 壽 福島市
- 押見美喜子 泉田上
- 渡邊 善男 高城
- 齋藤 光代 梁川町
- 安田 憲一 滝山
- 鈴木 駒 山形県南陽市
- 菊地喜代始 石母田原
- 千葉紀恵子 月館町
- 菊地 正美 石母田北
- 橋本 幸子 福島市

税の相談は お気軽に

今年も贈与税と所得税の申告期が近づいてきました。準備はすすんでいくでしょうか。税金についてもっとよく知りたい、相談したいときは、いつでももよりの税務署、税務相談室へどうぞ。

お知らせ



幼稚園児を募集

来春四月、幼稚園に入学する幼児を次により募集します。ご希望の方は期間内に申し込みをされようお知らせいたします。

記

▽対象年齢

昭和四十五年四月二日から四十六年四月一日の間に生まれた幼児

▽申し込み期間

昭和五十一年一月六日より、一月十四日までの間

▽申し込み場所

藤田幼稚園 森江野幼稚園

▽持参していただくもの

いんかん

年末年始のゴミ収集

伊達地方衛生処理場は十二月三十一日より一月三日まで休みとなります。よって町では次の日程でゴミ収集を行います。ご協力をお願いします。

12月27日(土) 平常どおり

12月28日(日) 休み

12月29日(月) 萩田市街地を

30日(火) 午前中に回る

12月31日(水) 休み

1月4日(日) 休み

1月5日(月) 平常どおり

なお、し尿汲みとりは十二月十七日までですので、早目に業者きたのんで下さい。

宅地建物取引主任者資格試験の講習会

不動産取引を業として行う場合は、宅地建物取引主任者の資格が必要ですが、この試験は年一回、県知事により全国一斉に施行されます。それにつき講習会を開催します。ぜひぜひ参加してください。試験は年々むずかしくなっていますので早目に準備されるようおすすしめします。

▽日時
昭和五十一年一月十日・十一日
午前十時/午後五時

▽会場
相馬市中村町

相馬商工会議所会議室

▽参加要領

1 参加料は一人当り一万円

(テキスト共)

2 希望者は現金書留または銀行振込(水戸市常陽銀行本店、普通

おめでとうございます

十一月中に届けられた人(敬称略)
父の氏名(子の名)(部落)
岩城恭郎 字 大町北
遠藤久雄 業 町東
一條昌右 良子 鳥取
高橋昭一 久美子 上野
松浦稔 剛史 並柳
小野賢義 純也 宮町南
鈴木文雄 涼子 築館
阿部茂男 義 高木戸
東海林一樹忠 高本町
八巻忠一 忠明 徳江北
吉田儀一 司 第四
笠松文夫 三男 山根
渡邊孝一 孝彦 山崎館
熊坂文男 真澄 内谷東
齋藤清美 雅之 太田川
渡邊長雄 和弘 太田川

預金口座一〇〇三三七

▽講師
日本経営実務協会専務理事
中小企業経営顧問

友 末 律 義 氏

▽お申込みとお問合せ
茨城県水戸市八幡町六の九

日本経営実務協会県事務局

☎(〇一九二)二四一四七〇七

歳末助け合い運動 実施中

12月25日まで

おくやみ申しあげます

十一月中に届けられた人(敬称略)

菊地平三郎	73	石母田原
佐藤 孫忠	35	源奈山
大波 キツ	78	第九
渡邊 ハツ	82	太田川
早田 盛	82	小館
神津ハルエ	62	大町北
鈴木 つよ	63	並柳
山本 正吉	67	本町
菊地 初子	73	滝山
本間平兵衛	29	内谷東
玉木 キイ	77	小坂
菊地 セツ	69	第十
菅野廣三郎	90	内谷東

編集日記



▽今年もいよいよ最後の月になりました。こよみをみますと、神事仏事、農事について、日ごとに「納めのし」なになにといった文字が目立ちます。これはくらしの上で一年のけじめをつけてきた先祖のいとなみだったことなのでしょう。季節はくり返り返りやっています。が、新しい年を迎える私たちの気持ちや心構えはやはりちがうものがあるでしょう。

▽町史編さんも大つめにきて、このほど第四巻が発刊されました。ここまでできた編さん室の先生方のご苦労はなまいたいていのことではなかつたと思います。国見町史は地方史として全国でもトップレベルといわれています。二、三、四巻と、この膨大で貴重な資料は、現世のみならず、後世へのすばらしい遺産となるでしょう。

今月の納税

町民税 第四期
国保税